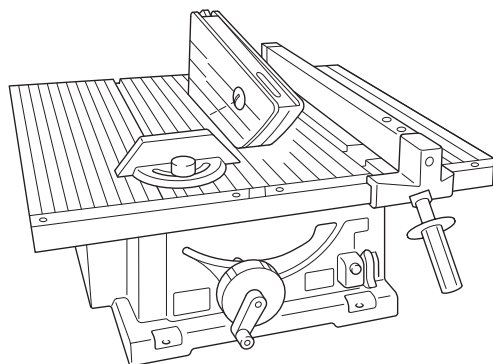




取扱説明書

255mm マルノコ盤

☐ モデル **2703**
(ブレーキ付)



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**255mm マルノコ盤**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ マルノコ盤安全上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	12
・ 別販売品のご紹介	13
・ 使い方	14
・ 組み立て方	14
・ ノコ刃の取り付け方	14
・ 安全ガイドの取り付け方	15
・ 据え付け場所	16
・ 標準付属品の収納場所	16
・ 切り込み深さの調整	16
・ 傾斜角度の調整	17
・ 角度ストッパの調整	17
・ 平行定規の調整	18
・ 平行定規の取り付け方	18
・ ノコ刃と平行定規の平行	18
・ テーブル側の目盛りの位置調整	19
・ スイッチの操作	19
・ 切断作業	20
・ 横切り	21
・ 傾斜定規の使用法	21
・ 縦切り	22
・ 補助治具の使い方	22
・ 別販売品の使い方	23
・ マルノコスタンド	26
・ 保守・点検について	27
・ 各部取り付けネジ	27
・ 安全ガイドの作動点検	27
・ 作業後の保管	27
・ 清掃	27
・ 注油	27
・ カーボンブラシの交換	28
・ 本製品のお手入れ	28
・ ご修理の際は	28

主要機能

主要機能	モデル	2703
電動機	直巻整流子電動機	
電圧	単相交流 100 V	
電流	15 A	
周波数	50-60 Hz	
消費電力	1,430 W	
回転数	4,600 min ⁻¹ (回転 / 分)	
刃物寸法	外径 255 mm × 内径 25.4 mm	
	使用可能ノコ刃	外径 220 ~ 260 mm
		ノコ身厚さ 1.8 mm 以下
		あさり幅 2 mm 以上
最大切り込み深さ	90 °……91 mm	
	45 °……63 mm	
本製品寸法	長さ 560 mm × 幅 686 mm × 高さ 458 mm	
質量	18 kg	

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 電動工具を湿った場所で使用することが避けられない場合、漏電しゃ断器によって保護された電源を使用してください。
8. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。
 - ・ 不注意な行動は、重大な障害を引き起こすおそれがあります。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. ハンドルおよび保持面にオイルまたはグリスを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいてください。
 - ・ ハンドルまたは保持面が滑ると、電動工具の安全な取り扱いまたは制御を妨げるおそれがあります。
10. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
11. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
12. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
13. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

＜異常・故障例＞

 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スwitchを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、マルノコ盤として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 安全ガイドは絶対に固定したり取りはずしたりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ・ ノコ刃が露出したままですと、けがの原因になります。
3. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。特にこの身の厚さは、割刃の厚さより薄いノコ刃を使用してください。
 - ・ 反発などにより、けがの原因になります。
4. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用して使用しないでください。
 - ・ ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 使用中は、ノコ刃や回転部に手や顔を近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 手がノコ刃に接近する場合は、必ずプッシュスティック（押し棒）など治具を使用してください。
7. 使用中は、材料をしっかり保持し、こじれないように切断してください。
 - ・ 材料がこじられると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。
8. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま材料を戻さないでください。
 - ・ ノコ刃を回転させたまま材料を戻すと強い反発力が生じ、けがの原因になります。材料を戻すときは、スイッチを切り、回転が完全に止まってから戻してください。
9. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. ノコ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. テーブルの上に、工具や切断片などを放置したまま作業しないでください。
 - ・ テーブルの上のものが飛散し、けがの原因になります。
4. ノコ刃の回転中は、切断片を取り除かないでください。
 - ・ ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
6. 材料を押す手を、ノコ刃の延長線上に置かないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 平行定規は、確実に固定してください。
 - ・ 固定が不十分な場合、材料がこじれてけがの原因になります。
8. 作業台がわりにテーブルの上に乘らないでください。
 - ・ 思わぬ事故の原因になります。

注

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

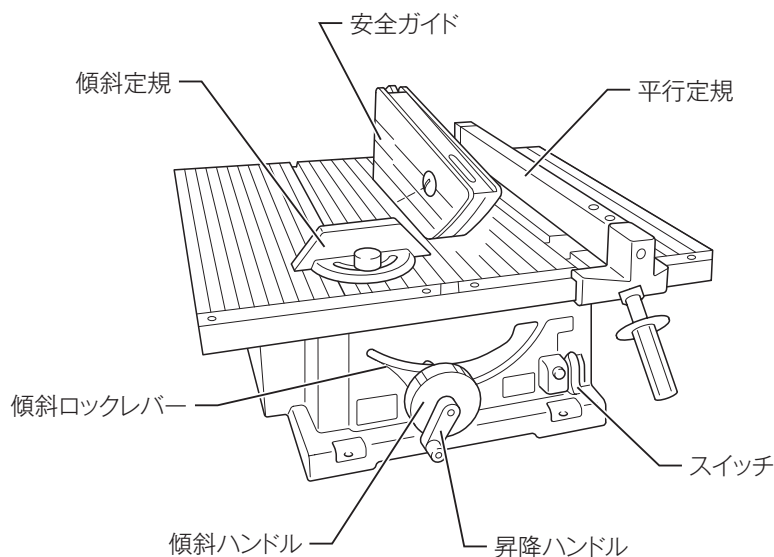
使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 7 A	—
0.75 mm ²	20 m	10 m	—

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
1.25 mm ²	30 m	15 m	10 m
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

- ・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

標準付属品	モデル	2703
平行定規		●
傾斜定規		●
メガネレンチ 13-22		●
スパナ 19		●
スイッチボタン (予備 2 個)		●
ホルダキャップ用ネジ回し		●
リング 15		●
チップソー		●

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ チップソー

	外径 (mm)	刃数	寸法 (mm)				部品番号
			鋸身厚	刃先厚	内径	リング内径	
一般木工用	255	50	1.8	2.6	25.4	25	A-01862
		72	1.8	2.6	25.4	25	A-10338
	260	72	1.8	2.4	25.4	—	A-06622
		100	1.8	2.4	25.4	—	A-17815
縦挽き用	255	36	1.6	2.3	25.4	—	A-34338
合板専用 (標準付属品と同じ)	255	72	1.8	2.8	25.4	—	A-16134
集成材用	260	100	1.8	2.4	25.4	—	A-31083

- ・ マルノコ盤スタンド（部品番号：192680-7）
- ・ サブテーブル R セット品（部品番号：192797-6）
- ・ サブテーブル L セット品（部品番号：192798-4）
- ・ ジョイント 55< 集じん機接続用 >（部品番号：192799-2）
- ・ ジョイント 55< 木工集じん機モデル 410 接続用 >（部品番号：192800-3）
- ・ プッシュスティック< 押し棒 >（部品番号：416772-1）
- ・ ミゾキリカッタ…外径 120 mm × 内径 15 mm × 幅 2.4 ~ 15.0 mm
(23 ページ参照)
- ・ カッタ用アウタフランジおよびリング・フラットワッシャ
- ・ センタカバー（部品番号：317061-6）

下記のカッタ幅のカッタご使用時に取り付けてください。

(7.5、9.0、10.5、12.0、13.5、15.0 mm)

使い方

組み立て方

⚠ 警告

組み立ての際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントより抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

ノコ刃は、外径 220 ~ 260 mm・厚み 1.8 mm 以下・あさり幅 2.0 mm 以上のものを使用してください。

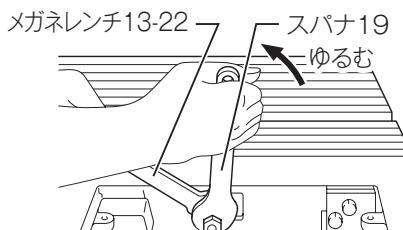
- ・ これにあてはまらないノコ刃を使用しますと、けがの原因になります。

安全ガイドは身体がノコ刃に触れるのを防ぐためのものです。安全ガイドの作動が不完全なまま使用したり、安全ガイドを上げてひもなどで固定したり、取りはずしたりして使用することは大変危険なため、絶対しないでください。

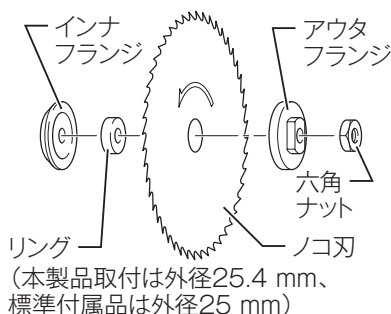
- ・ 本製品は工場出荷時には、ノコ刃と安全ガイドが取りはずしてありますので、次の順序で組み立ててください。

ノコ刃の取り付け方

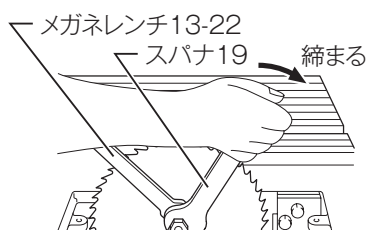
- ・ アウタフランジにメガネレンチ 13-22 をはめ柄を手前に倒した後、スパナ 19 で六角ナットをゆるめ、アウタフランジをはずします。



- ・ ノコ軸にインナフランジ→リング→ノコ刃→アウタフランジ→六角ナットの順に組み付けます。この時、ノコ刃はテーブルの手前で刃先が下を向くように取り付けてください。六角ナットはくぼみ側が、アウタフランジを向くように取り付けてください。



- ・ 締め付けは、アウタフランジにメガネレンチ 13-22 をはめ、柄を手前に倒しスパナ 19 で六角ナットを締めつけます。



注

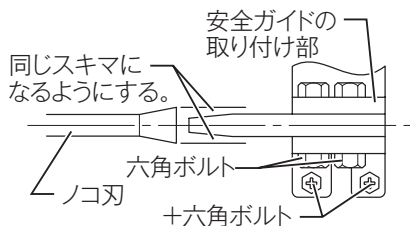
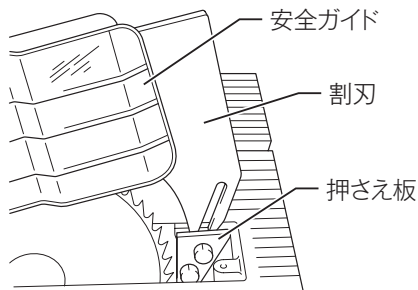
- ・ 使用されるノコ刃の内径を確認し、内径に合ったリングをご使用ください。

使い方

割刃の取り付け位置はあらかじめ調整して出荷しております。

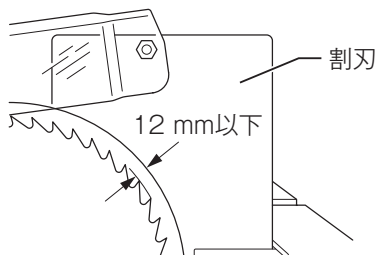
安全ガイドの取り付け方

- 安全ガイドの割刃をテーブル後部（ノコ刃後部）の安全ガイド取り付け部と押さえ板の間にに入れてください。
- 安全ガイド取り付け部に付いている六角ボルトをメガネレンチ 13-22 で締め付け、ノコ刃と安全ガイドの割刃が、一直線になっているか確認してください。ずれている場合は、安全ガイドの取り付け部を固定している＋六角ボルトをゆるめて一直線になるように調整してください。



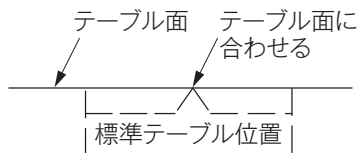
注

- 安全ガイドの取り付け、調整は、昇降ハンドルを右に回し、安全ガイドの取り付け部を最上部（最大切り込み深さ）にしてから、行ってください。
- 割刃はノコ刃と一直線上になるように、正しく調整してください。
- 割刃とノコ刃の刃先の間隔が 12 mm 以下になるように調整してください。



- 付属のノコ刃（外径 255 mm）の場合は、割刃に貼り付けの「標準テーブル位置」とテーブル面が同じになるようにしてください。

このとき割刃とノコ刃の刃先の間隔は 4 ～ 5 mm になります。



使い方

- 調整が終わりましたら、六角ボルトおよび＋六角ボルトの両方ともしっかり締めつけてください。

⚠ 注意

六角ボルトをメガネレンチで締めつけるときはレンチの横縞の部分を持って締めつけてください。

- 長いまま握って締め付けると六角ボルトが損傷するだけでなく、けがの原因になります。
- センターカバーを取り付け、安全ガイドがスムーズに作動することを確認してください。

据え付け場所

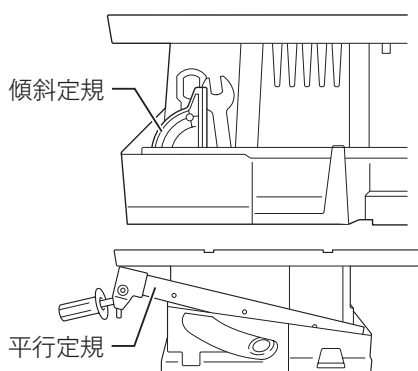
- 明るくて傾斜のない平坦な場所に、すべったり、ずれたりしないよう、作業台や別販売品のマルノコ盤スタンドに固定した状態で使用してください。
- 作業台には、切りくず排出用の穴を設けてください。

注

- 切削屑の排出を妨げないようにテーブルから壁面まで 30cm 以上は離してください。

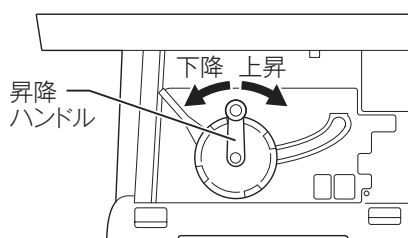
標準付属品の収納場所

- 傾斜定規およびスパナ類はベースの左側に平行定規はベースの後側に収納してください。



切り込み深さの調整

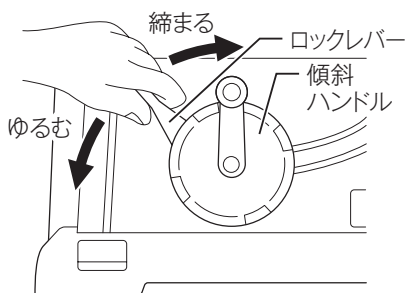
- 切り込み深さの調整は昇降ハンドルを回して行います。昇降ハンドルを右に回すとノコ刃が上昇し、左に回すと下降します。



使い方

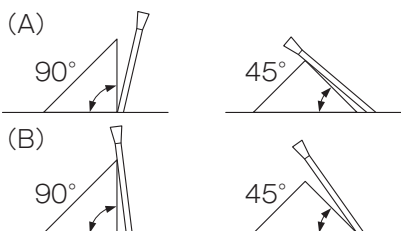
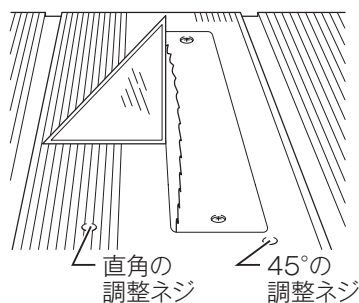
傾斜角度の調整

- 傾斜ロックレバーを下げてゆるめ、傾斜ハンドルを回してお望みの角度($0^{\circ} \sim 45^{\circ}$)に合わせてください。傾斜角度は角度目盛の矢印が示します。角度の調整が終わりましたら、傾斜ロックレバーを上げて締め付けてください。

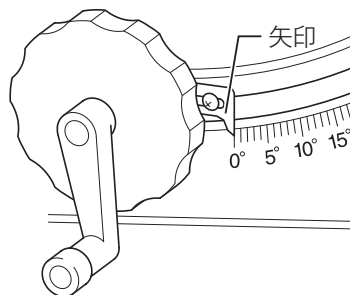


角度ストッパの調整

- ノコ刃はテーブル面に対し、直角および 45° で止まるようにストッパで調整してありますが、ストッパの位置がずれた場合には次のように調整してください。
- テーブル上面の調整ネジで角度ストッパを調整します。傾斜ハンドルを回してストッパにあたる位置が (A) のようになる場合は、調整ネジを時計方向に、(B) のようになる場合は、反時計方向に回して角度ストッパを調整してください。



- 角度ストッパの調整が終わりましたら、直角のストッパで止まる位置で矢印の右側が 0° を示すように矢印の位置調整を行ってください。

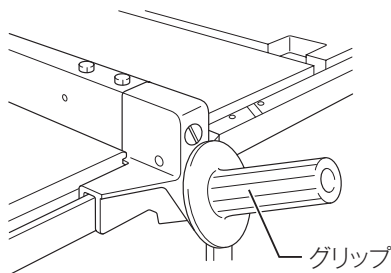


使い方

平行定規の調整

平行定規の取り付け方

- 平行定規のグリップを上げて、テーブルのレールと定規の溝を合わせて取り付けてください。グリップを下げると固定できます。



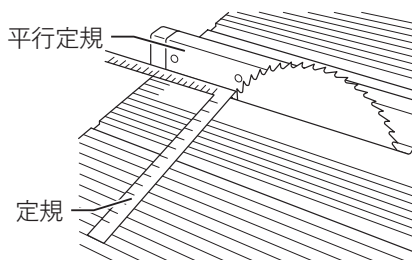
ノコ刃と平行定規の平行

⚠ 注意

平行定規は必ずノコ刃と平行に調整してください。

- 平行でないとなコ刃をこじて、けがの原因になります。

- 平行定規をノコ刃から 2 ～ 3 mm の位置で固定し、お手持ちの定規でノコ刃からの距離をノコ刃の前後 2 か所で測ってください。平行になっていない場合は、以下の手順で調整してください。

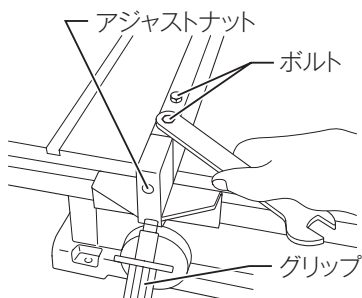


⚠ 注意

六角ボルトを付属のスパナで締め付けるときはスパナの横縞の部分を持って締め付けてください。

- 長いまま握って締め付けると六角ボルトが損傷するだけでなく、けがの原因になります。

- アジャストナットを左に 2 ～ 3 回転させてください。
- 平行定規の 2 本のボルトを付属のスパナでゆるめてください。
- 平行定規をノコ刃と平行にしてください。
- グリップを下にさげ平行定規を固定してください。
- 2 本のボルトを締め付けてください。

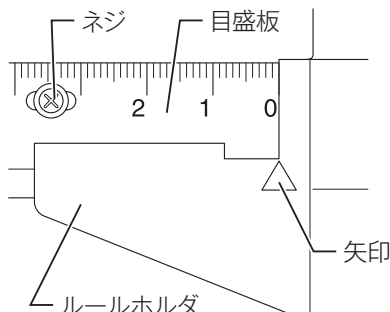


使い方

- ・ グリップを下げた状態でアジャストナットを右に回し平行定規の先端が固定されるようにしてください。このとき右に回しすぎますと、以後の操作時に平行定規の先端が先に固定されるようになり、ノコ刃と平行定規の平行が出にくくなりますので注意してください。

テーブル側の目盛りの位置調整

- ・ 平行定規をノコ刃に密着させて平行定規を固定し、ルールホルダの矢印が目盛板の0を示していることを確認してください。
- ・ 目盛板がずれている時には、目盛板のネジをゆるめ0になるように調整してください。



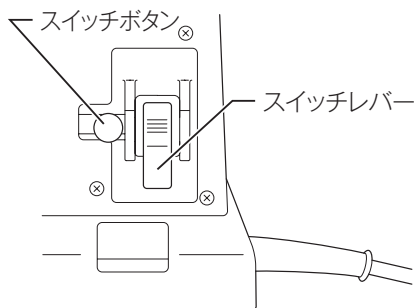
スイッチの操作

⚠ 警告

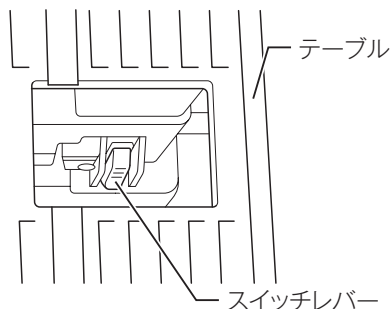
電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動き出し事故の原因になります。

- ・ スイッチレバーを押し下げてその状態でレバーの下方を手前に引けばスイッチが入ります。
- ・ スイッチの下方を押すと切れます。
- ・ 本製品を使わないときは、スイッチボタンを取りはずしてください。
- ・ スイッチボタンを取りはずしておけばスイッチは入りません。



- ・ テーブルには、スイッチが上から見えるように窓がけてあります。



使い方

切断作業

⚠ 警告

手がノコ刃に接近する場合は、必ずプッシュスティック（押し棒）など治具を使用してください。

使用中は、材料をしっかり保持し、こじれないように切断してください。

- ・ 材料がこじられると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。

切断途中で、ノコ刃を回転させたまま材料を戻さないでください。

- ・ ノコ刃を回転させたまま材料を戻すと強い反発力が生じ、けがの原因になります。材料を戻すときは、スイッチを切り、回転が完全に止まってから戻してください。

⚠ 注意

ノコ刃の回転中は、切断片を取り除かないでください。

- ・ ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。

材料を押す手を、ノコ刃の延長線上に置かないでください。特にノコ刃を傾斜する場合は注意してください。

- ・ けがの原因になります。

平行定規は、確実に固定してください。

- ・ 固定が不十分な場合、材料がこじれてけがの原因になります。

切断中は材料をこじたり、浮かしたりしないでください。

- ・ 材料が反発することがあり、けがの原因になります。

小さな材料、幅の狭い材料を加工するときや、溝切り作業でカッタが材料の下に隠れる場合は、必ず押し具などを使って作業してください。

- ・ 刃物に手などが触れけがの原因になります。

- ・ テーブルの上に材料をのせ、ノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れます。材料を両手でしっかり保持し、ノコ刃の回転が完全に上昇し安定したら、そのまま静かに送材し、切り終わるまでこの状態を保ちます。特に硬い材料を切断する場合は、出来るだけゆっくり送材してください。切断面をきれいにするには、一定の速さで真直ぐ材料を進めてください。

注

- ・ 材料の急激な送りは避けてください。モータに無理がかかり故障の原因となります。
- ・ 安全ガイドは、直角および傾斜切断時に、円滑に作動しノコ刃を覆うことを確認してから作業してください。
- ・ 薄い材料の場合、ノコ刃の切り込み深さを材料の高さより少し大きな切り込み深さになるように調整すると、切り口がきれいに仕上がります。

使い方

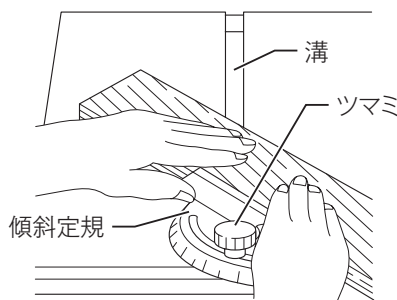
横切り

注

- ・ 横切りをする場合は、平行定規を取りはずしてください。
- ・ 長い材料を横切りする場合は、テーブルの横にお手持ちのテーブルと同じ高さの補助台を設けてください。

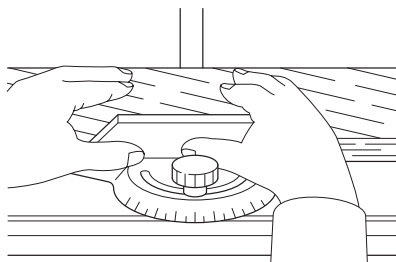
傾斜定規の使用方法

- ・ 傾斜定規は比較的幅の広い材料を斜めに切断する時に使用します。
- ・ テーブル上の2本の太い溝に傾斜定規を取り付けます。ツマミをゆるめてお望みの角度 ($0^{\circ} \sim 60^{\circ}$) に合わせ、材料の後面を傾斜定規の面に当て前方へ静かに送り切断します。
- ・ 平行定規で作業しづらい長尺物は傾斜定規を使用されますと便利です。



注

- ・ 切断中、傾斜定規から材料がズレたり、離れないようしっかり保持して作業してください。特に斜めに切断する時は材料が動き易いため、十分注意してください。



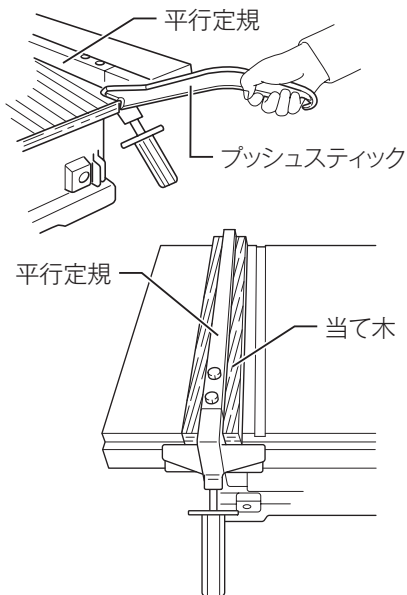
使い方

縦切り

注

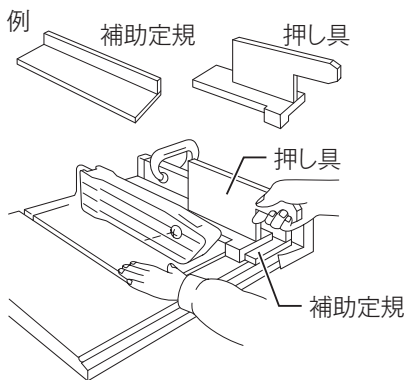
- ・ 縦切りをする場合は、傾斜定規を取りはずしてください。
- ・ 長い材料を縦切りする場合は、テーブルの後方にお手持ちのテーブルと同じ高さの補助台を設けてください。

- ・ 材料が安全ガイドに触れない位置でスイッチを入れてください。
- ・ 材料を平行定規に沿わせ、ゆっくり前へ押して切断してください。手がノコ刃に接近する場合は、必ずプッシュスティック（押し棒）を使用してください。
- ・ ノコ刃と平行定規が接近する場合は平行定規の側面に当て木をしてください。当て木は、木板・プラスチック板を使用し、ボルト・ナットまたは接着剤などではがれないよう、しっかり取り付けてください。
- ・ ノコ刃と平行定規の間が狭くプッシュスティック（押し棒）が安全ガイドにあたって使えないときは右記に示すような補助治具などを用いて作製してください。



補助治具の使い方

- ・ 補助定規を平行定規にCクランプ（シャコマン）などでしっかり固定してください。
- ・ 材料を補助定規に沿わせ、ゆっくり切断し、手がノコ刃に接近したら押し具を使用してください。



別販売品の使い方

ミゾキリカッタ…外径 120 mm ×内径 15 mm ×幅 2.4 ~ 15.0 mm
カッタ用アウトフランジおよびフラットワッシャ、リング、六角ナット

- ・ ミゾキリカッタをご使用の際、お求めください。

注

- ・ 安全ガイドを本製品からはずして行います。刃物に手を触れないよう押し具を使用し、注意して作業してください。

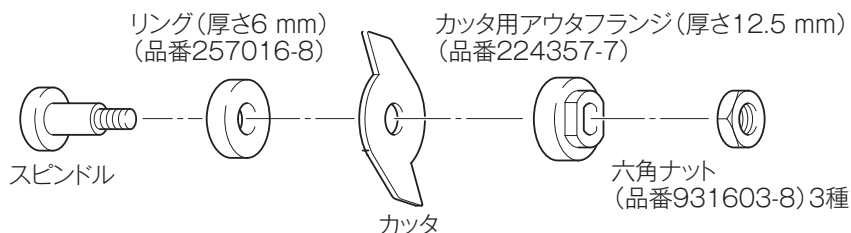
14 ページに記載してありますノコ刃の取り付け方と逆の要領でノコ刃を取りはずします。

取り付けの際に、ノコ刃取り付け時のインナフランジをリングまたはフラットワッシャに取り替えます。次にミゾキリカッタ、アウトフランジ、六角ナットの順に取り付けます。

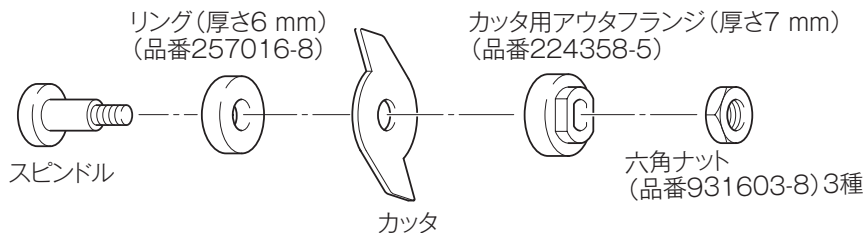
注

- ・ カッタの幅によって使用するアウトフランジの厚さとリング、フラットワッシャなどが異なりますので注意してください。

- ・ カッタ幅 2.4、3.0、3.9、4.5、5.5、6.0 mm の場合

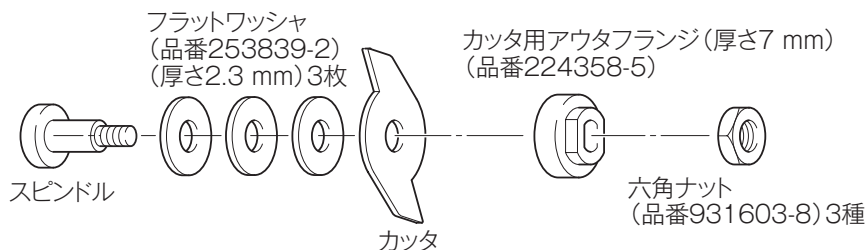


- ・ カッタ幅 7.5、9.0、10.5 mm の場合

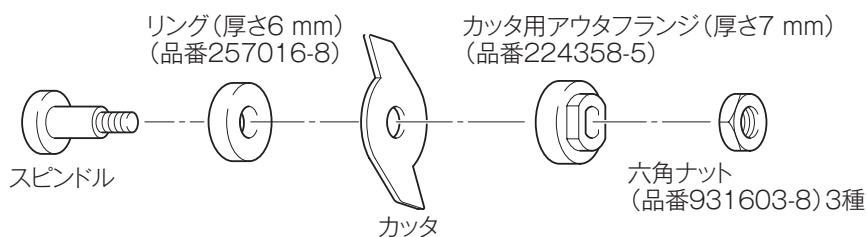


別販売品の使い方

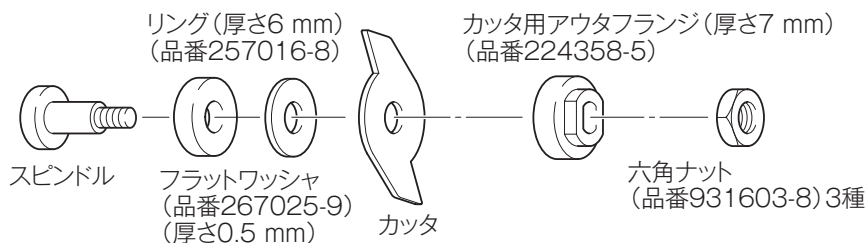
- カッタ幅 12.0 mm の場合 (台金幅 9.0 mm)



- カッタ幅 13.5 mm の場合 (台金幅 11.5 mm)



- カッタ幅 15.0 mm の場合 (台金幅 11.5 mm)

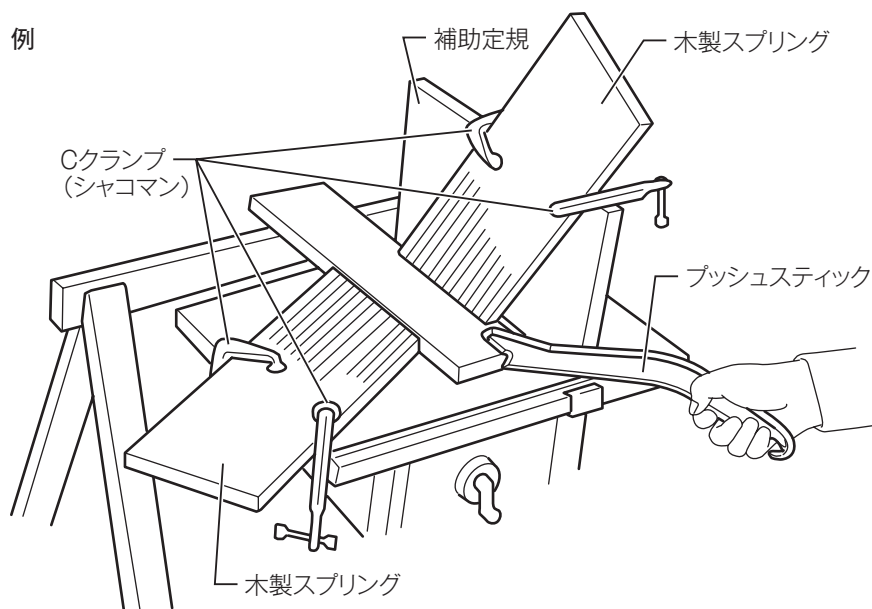


別販売品の使い方

注

- 六角ナットはしっかり締め付けないと、ミゾキリカッタがカラ回りしますので注意してください。
- ミゾキリ作業は、加工中カッタが材料の中に隠れていますので、カッタに手が近づかないよう図に示すような補助治具などを作製して作業してください。
- カッタを傾斜して作業するとテーブルにあたりますので絶対しないでください。
- 木材以外の加工には使用しないでください。

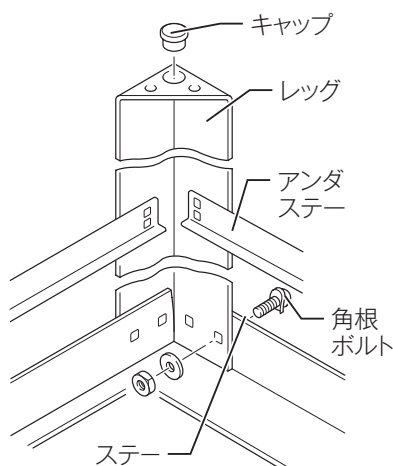
例



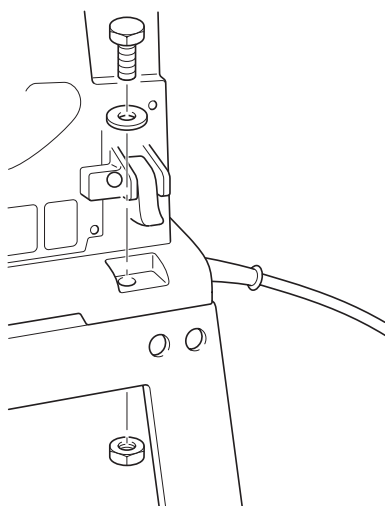
別販売品の使い方

マルノコスタンド

- ・ 組み立て方はステーを下に並べてレッグを逆さに立て、角穴を合わせ角根ボルトとナットで確実に締め付けた後、レッグの先端にキャップをはめます。



- ・ 組み立てたスタンドの上に本製品を載せ、4本の六角ボルト、平座金、六角ナットで固定します。



注

- ・ マルノコ盤スタンドは専用スタンドですので、本製品以外のものを取り付けたり、載せたりしないでください。

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

各部取り付けネジ

- ・ 各部品の固定部にゆるみやガタがないか定期的に点検してください。

安全ガイドの作動点検

- ・ 安全ガイドがスムーズに作動するか確認してください。

作業後の保管

- ・ 作業後は必ず電源コンセントより電源プラグを抜いて、お子様の手の届かない所へ保管してください。また、長期間使用しない場合は、ほこりや錆の付かないようにして保管してください。

清掃

- ・ 時々、付着チップの除去など清掃してください。特に安全ガイドや内部の作動部は入念に行ってください。

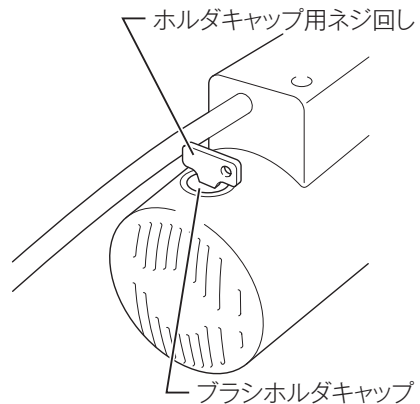
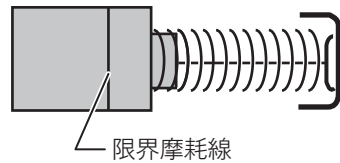
注油

- ・ 本製品を最良の状態で作業していただくため、または本製品を長持ちさせるため、時々、摺動部や回転部にグリスを塗布してください。
 - ・ 昇降ネジの外周・フレーム回転部
 - ・ モータ部の昇降ガイド軸
 - ・ 昇降用歯車部・傾斜用歯車部
 - ・ 安全ガイドの回転軸
 - ・ 傾斜固定用鉄板の長孔窓部
 - ・ 平行定規のカム軸

保守・点検について

カーボンブラシの交換

- ・カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・付属のホルダキャップ用ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
- ・カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替える場合は、必ず両方とも同時に行ってください。



注

- ・新品と交換の際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。指定以外のカーボンブラシを使用するとブレーキがかからないことがあります。

本製品のお手入れ

- ・乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

注

- ・ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881817H8
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）